

苦難も糧 希望の巣立ち

松山 通信制高校30人卒業式



卒業証書を受け取る第一学院高校松山キャンパスの生徒(右)

広域通信制・単位制の第一学院高校松山キャンパス(松山市南堀端町)の卒業式がこのほど、松山市湊町7丁目の市総合コミュニティセンターであり、不登校などの苦難を乗り越えた30人が人生の新たなステージへと旅立った。

12日、岡田大佑キャンパス長が一人一人に卒業証書を手渡し「順風満帆ではなかったスタートから進むべき道を開き、確実に成長した。社会で活躍できる人になってほしい」と激励した。

1年半ほど中学校に通えなくなった経験がある3年北山七乙さん(18)は「中学時代は授業についていけず悩んだが、高校では自分のペースで勉強できて楽しかった。授業でプログラミングに興味を持ち、将来は仮想現実(VR)などの機器を開発したい」と目を輝かせた。

同校では不登校や高校中退、転校を経験した生徒や、スポーツや芸能活動との両立を目指す生徒が学んでいる。

(杉本賢司)